

## 伊勢湾貧酸素情報（第 6 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

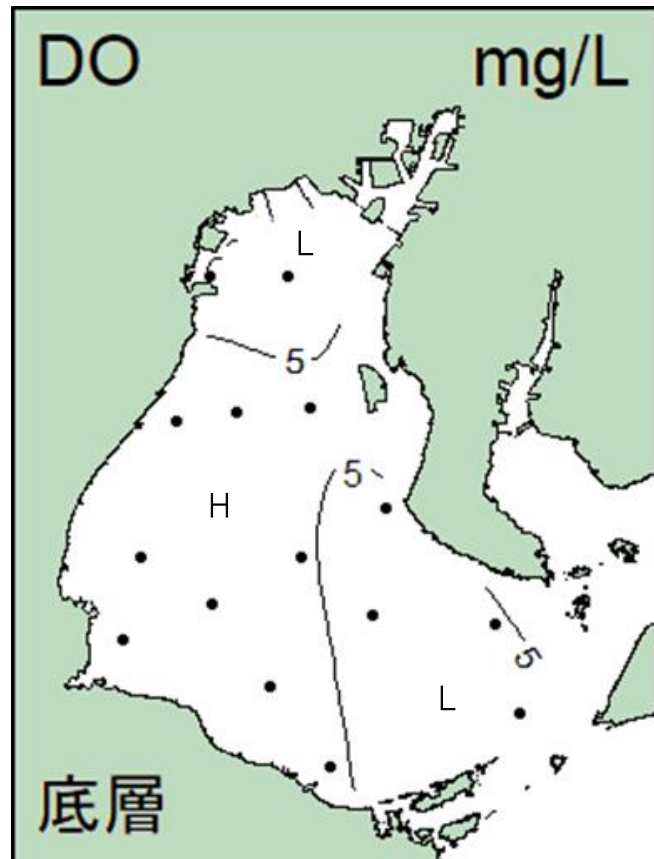
これまで伊勢湾の底層に形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は消滅しました。今期については今後大規模な貧酸素水塊の発生は無いものと考えられます。

### 11 月 22 日の調査結果

11 月 22 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると水温は表層で 17.0～18.7℃、10m で 17.3～19.1℃、底層で 17.3～19.3℃の範囲にあり、表層、10m で平年より低く、底層では平年よりやや低めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.3～7.1 mg/L、10m で 4.7～5.9mg/L、底層で 4.5～5.5 mg/L の範囲にあり、表層及び 10m は平年より低め、底層は平年並みとなっていました。

今回の観測で貧酸素水塊はみられませんでした。今後気温の低下により上下層水は混合されると考えられることから本年の貧酸素水塊は解消したものと考えられます。



底層貧酸素水塊分布図